



左から、ハイブリッドBPO統括本部のNさん、Tさん、Aさん、Mさん。

PFUスキャナー
導入事例

その他
製造業

TOPPAN

TOPPANエッジ株式会社
業種：その他製造業（印刷・同関連業）
サービス：印刷（ビジネスフォーム）、データ・
プリント・サービス（DPS）、BPO、Webソリューションほか多数の事業を展開

BPO事業の拡大にfiシリーズが大きく貢献 バックオフィス業務を一括受託するBPOの第一人者「TOPPANエッジ」が fiシリーズで多種多様な帳票をスキャン、高品質なサービスをお客さまに提供

企業や自治体様などのバックオフィス業務をワンストップで受託する、ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）ソリューションにおいて国内トップクラスのシェアを誇るTOPPANエッジ株式会社では、お客さまから預かる大量で多種多様な紙帳票を電子化するにあたり、業務用スキャナー「fiシリーズ」を複数台導入して活用しています。BPOのセンターを訪ね、イメージデータ生成のみならずテキスト化などのデータ運用までを幅広く手がける事業の詳細と、「fiシリーズ」に対する評価をうかがいました。

- 課題** BPO事業の展開・拡大にあたり、企業や自治体様からお預かりする多種多様な帳票をスムーズにイメージデータ化できるスキャナーが欠かせない。
- 解決法** 業務用スキャナー「fiシリーズ」2機種のほか複数機種を多数導入。
- 効果** 各種BPOサービスの入り口となる帳票の電子化を確実かつ効率的に実現。増大するニーズに応じて高品質なサービスを提供。

企業や自治体様の多彩で複合的なバックオフィス業務を ワンストップで受託

——ハイブリッドBPO統括本部のNさんとAさん、Tさんにお話をうかがいます。企業や自治体様の多様で複合的なバックオフィス業務をワンストップで受託する、BPOの現況についてお聞かせください。

Aさん BPO事業への依頼は年々増加傾向にあります。特にコロナ禍における対応を含め、デジタル化を促進する動きが多くの企業様で加速していると感じています。当社は印刷物（紙）を作成し、通知（DPS）業務を数多くの企業様よりご依頼いただいております。

その先にある処理（＝データ化）することにおいても、一貫して全体設計できる立ち位置にいると思っています。業務を複数社に分けて外部に依頼するより効率的であり、お客さまの業務負担軽減に貢献できているのではないのでしょうか。そのためBPO業務も一括で受託できる当社にお任せくださっているのだと思います。

Nさん デジタルデバイスの普及により

多くの企業様において紙と電子という多様な手段を必要とすること、少子高齢化などによる人手不足の状況下、本来のコア業務に集中したい従業者（職員様）が、利用者から返送されてくる申込書や申請書といった紙のドキュメントを電子化する、そのデータを活用するといったバックオフィス業務に時間を割けないため、外部委託をするというのは自然な流れといえるでしょう。

TOPPANエッジのBPOセンターではA3フラットベッド付きモデル「fi-7700」（左）とA3大容量モデル「fi-7900」（右）を複数台導入し、帳票の電子化に活用しています。



フラットベッドも使える「fi-7700」、 設定しやすい「PaperStream Capture」に高評価

——ドキュメントの電子化では、1件につき帳票の枚数はどのくらいになるのでしょうか。参考として枚数の多い例を教えてください。

Tさん ご依頼の内容により処理する枚数が多岐にわたりますので、一概に申し上げられませんが、複数のご依頼が多いでしょうか。

Aさん 大規模なご依頼の場合、枚数が極端に多くなり、全国のセンターに分配して短期間で一気に処理をすることもあります。

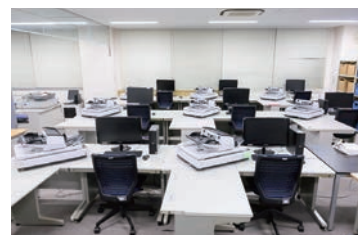
——段ボール数箱というような小規模な依頼もあるのでしょうか。

Nさん はい。規模の大小に関係なくお客さまの要件に応じて対応させていただいております。申込書に添付される書類(領収証、レシート等)のサイズも、枚数もいろいろ存在している場合、スキャ

ニングする際に注意が必要な古い紙がある場合などは、運用設計をしながらスキャナーを選択していきます。



左から、ハイブリッドBPO統括本部のNさん、Tさん、Aさん。



BPOセンターの一角。何台もの「fi-7700」が置かれています。

——使用するスキャナーはどのような観点で選択していますか。

Tさん 対象用紙のサイズやボリュームに応じていくつかの機械で検討します。フラットベッドでのスキャニングを必要とするかどうか、規定サイズ単一で大量かつ迅速な処理をするかどうかなどです。「fi-7700」はフラットベッドがあるので、ADF(オートドキュメントフィーダー)に通せない冊子状の申込書や契約書などが含まれている場合に使います。一方の「fi-7900」は読み取りスピードが速いという特長がありますので、フラットベッドが不要であれば「fi-

7900」を優先して使います。

使用頻度は「fi-7700」のほうが高いと思います。何十冊もあるバインダーを全部スキャンするといった案件も多く、そういうケースでは帳票の形態や紙質に応じてADFとフラットベッドを使い分けられる「fi-7700」でのスキャンが効率的です。ご依頼いただいた内容により最適な運用を目指して選択させていただいております。

Nさん 「fi-7700」はイレギュラーな紙が出てきたとき、同じ設定のままフラットベッドに切り替えられるので便利です。



「fi-7700」は上部にADF(左)、下部にフラットベッド(右)を備えたA3対応機です。途中でADFとフラットベッドを切り替えた場合もイメージデータを1ファイルとして保存できます。



シリーズ最速の「fi-7900」は単票のスキャンに大きな力を発揮します。



お客さまからお預かりする帳票の一例。



——fiシリーズの標準添付ソフトウェア「PaperStream Capture」の使い勝手はいかがでしょう。評価をお聞かせください。

Aさん 使い勝手のよいソフトウェアだと思います。社内の技術者を呼ぶことなく、現場にいる管理者だけでさまざまな設定ができる点がよいですね。

Nさん 現場レベルでセッティングできるのは大変ありがたいことです。こうした機器の場合、たいいては本社や開発拠点から技術者を呼ばないと物事が進まないのですが、「PaperStream Capture」に限っては現場の力でほぼ解決できるため、助かっています。

Tさん 「ここを触ればこういう設定ができる」ということが直感的にわかる点がよいですね。とても使いやすいと感じています。

「PaperStream Capture」画面(画像確認時)。直感的に操作でき、設定の変更も簡単にできることがスキャニングの現場で評価されています。

